

【山崎主宰の俳句】

三・一

山崎 聰

どどどどどと狼たちの雪夜
男来るシベリアからは凄い寒波
どの橋もきれいに灯り多喜二の忌
深雪晴門ひとつ外されて
刃物屋に少年二人雪が降る
影うごきあと人うごく忘れ雪
立春満月ぞろぞろとけものたち
灯されて三月三日の玉子焼き
三・一一快晴土筆まだ出ぬか
一茶子規然してわれら涅槃雪